

額田地域コミュニティバスの運行見直しについて

1 運行見直しにかかる方針及び考え方について

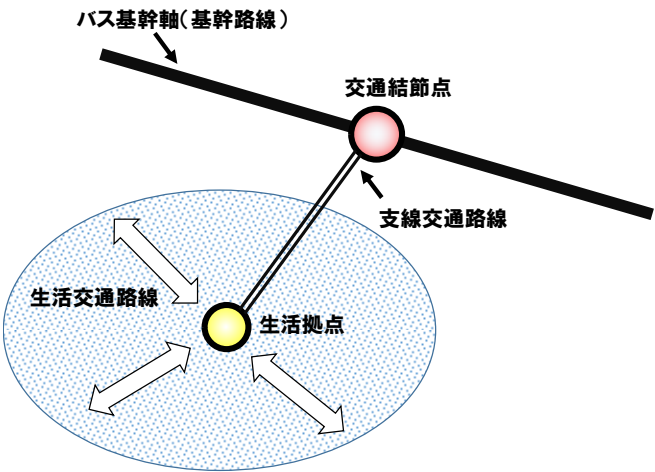
(1) 確保すべきサービス水準について

額田地域コミュニティバスは生活交通路線として、買い物や通院等の利用需要に合わせ、適切なサービスの提供を行う必要がある。

【バス路線区分の考え方】（岡崎市地域公共交通網形成計画より抜粋）

ネットワーク区分		バス基幹軸	地域内交通	
路線区分		基幹路線	支線交通路線	生活交通路線
対象とする利用目的		通勤・通学・買物・通院及び他の目的	通勤・通学・買物・通院及び他の目的	買物・通院など
位置づけ		市内の主要な交通結節点を結び、通勤・通学、買物、通院などの移動に対応することができる基軸となる路線で市が定めるもの	基幹路線と交通結節点で接続することを基本とし、本市のバスネットワーク構成上必要性が高く、一定の需要が見込まれる地域へ運行する路線で市が定めるもの	支線交通路線と接続することを基本とし、極めて需要が少ないと予想される地域において、地域住民が主体となって運行する路線で市が支援するもの
接続先の例		鉄道駅型交通結節点、バス停型交通結節点、及び居住機能、商業・業務機能、高度医療機能、広域的な文化・交流機能、行政機能などを有する複合的施設間の接続	交通結節機能に優れた地区、及び地域商業、初期医療など日常生活に必要な機能の集約を進める地区と基幹バス路線との接続	地域自治のサポート機能を担う支所や、地域住民の文化・交流機能を担う市民センターなどが配置された地区（地域自治拠点）、及び地域商業・地域医療施設と生活交通路線との接続
サービス水準確保の目安	運行日	毎日	平日毎日 （土日・休日の運行は地域性による）	週1～2日
	運行時間帯	6～20 時台		午前、午後でそれぞれ最低限1往復を確保
	運行頻度	朝夕ピーク 1時間に1本 オフピーク 2時間に1本	午前、午後でそれぞれ1往復以上を確保	※収支率等がクリアできれば、地域住民の発意で、支線交通路線のサービス水準を取り入れることも可

地域内交通のイメージ



(2) 地域協議会での住民意見等

バス路線名 （地区名）	意見等
額田地域全体	・ 地域内のバス路線は収支率や利用率も低く、また、空バスも多く走っていることから、何らかの手を打つ必要がある。
ささゆりバス （下山地区）	・ 利用されていない便の減便対応は致し方ない。 ・ 小型バスからジャンボタクシーへの変更は、地域の取り組み等で一度に多人数の利用があるため見直しは難しい。
乙川バス （形埜地区）	・ 利用されていない便の減便対応は致し方ない。 ・ 現状の運賃は維持してほしい。
のってこバス （宮崎地区）	・ 利用されていない便の減便は致し方ない。 ・ 利用されていないルート削減は致し方ない。 ・ 週1日運行でも維持してほしい。
ほたるバス （豊富・夏山地区）	・ 利用されていない便の減便対応は致し方ない。 ・ 夏山地区は、現在週1日の運行であるため、これ以上は減らせない。

(3) 額田地域コミュニティバスの見直しの方向性

住民との協議や現在の状況（利用状況や収支等）を把握した上で、以下に示す方針で額田地域の見直し案により、効率的な運行に見直し、生活の足を確保する。

バス路線名 （地区名）	見直し方針
ささゆりバス （下山地区）	・ 高校生の通学手段として使われている状況や利用促進策、地域との協議により最低限確保すべきサービス水準以上を確保する。
乙川バス （形埜地区）	・ 利用者の少ない便の運行をとりやめる。 ・ 主な利用目的である通院や買物を不便なく行うことができるよう地域との協議の上、最低限のサービス水準を確保する。
のってこバス （宮崎地区）	・ 利用者の少ない便の運行をとりやめる。 ・ 利用者の少ない区間についての削減を行う。 ・ 主な利用目的である通院や買物を不便なく行うことができるよう地域との協議の上、最低限のサービス水準を確保する。
ほたるバス （豊富・夏山地区）	・ 利用者の少ない便の運行をとりやめる。 ・ 主な利用目的である通院や買物を不便なく行うことができるよう地域との協議の上、最低限のサービス水準を確保する。

2 見直し案

(1) ささゆりバス

区分	現運行	見直し案
主な起終点	下山地区～岡崎げんき館前・北部診療所	
	月～金曜日（北部診療所へは火・金曜日のみ運行）	
運行日 便数	市街地便：4～8 便（月～金） 診療所便：3 便（火・金）	

- 見直し内容
現運行を 1 年間延長するという形で維持。
地域の取り組み等で一度に多人数の利用があるため、車両サイズについては維持。

(2) 乙川バス

区分	現運行	見直し案
主な起終点	北部診療所～南大須・鍛埜地区/切山・小久田・毛呂・井沢地区	
運行日	週3日（月・火・木）	週1日（未定）

- 見直し内容
運行の効率化のため、週3運行から週1運行に集約。
ダイヤ・ルートは現運行を維持。

(3) のってこバス

区分	現運行	見直し案
主な起終点	宮崎診療所～大雨河地区・千万町地区	
運行日	週2日（月・水）	週1日（未定）
ルート ダイヤ	大雨河地区 路線長：22.9km 千万町地区 便数：4 便/日	大雨河地区 路線長：14.8km 「大代」～「熱田神社」間を 廃止。 千万町地区 便数：2 便/日

- 見直し内容
運行の効率化のため、週2運行から週1運行に集約。
利用者が非常に少ない大雨川地区の「大代」～「熱田神社」間を廃止。
空バスの多い千万町地区の2便目と4便目を廃止。

(4) ほたるバス

区分	現運行	見直し案
主な起終点	星野クリニック～夏山地区・鳥川地区	
運行日	週2日（火・金） 夏山地区：火のみ 鳥川地区：火・金	週1日（火）

- 見直し内容
鳥川地区は運行の効率化のため、週2運行から週1運行に集約。
ダイヤ・ルートは維持。

3 今後の流れ

- 令和2年1月～2月頃に運行事業者を決定する予定
- 将来の額田地域にとってのコミュニティバスのあり方を検討
- 利用促進策の検討及び実施